

**要望事項 (優先順位 4)**

かいまわりの暗渠管の対策について

**要 旨**

京都府道38号線、広河原美山線の二ノ瀬トンネル鞍馬側出入口より南側60mの地点、通称「かいまわり」の谷川は、暗渠管によって鞍馬街道を横断し、鞍馬川に到っています。

斜面や谷川上部からの岩石、土砂、落葉、木片当の崩落や流出によって、暗渠管が詰まり、流水を妨げています。この状態が進行しますと道路面まで堆積し、通行を妨げ、事故の原因となります。この構造の改善を要望します。

この地域は、カーブが連なっており、添付写真のようにこの地点はちょうど二ノ瀬川から陰になっています。道路上の障害物は間近になるまで視界に入らず、車両の乗上げ等で事故が起きる可能性が大きいです。

以前にも路面上に流出した障害物が発生し、除去していただいたことがあり、降雨時等に巡回、点検を余儀なくされております。このようなことが起こらないように、暗渠管上流側に土砂等の流出を防ぐ壁、堰堤を設置するか、暗渠の開口を大きくするかの改良を要望いたします。

**回 答**

**(産業観光局)**

「かいまわり」の谷川上部から流水とともに流れる岩石、土砂等は、道路暗渠管入口側の柵に溜まり、流水だけが暗渠管に流入する構造であり、暗渠管への土砂流入を防ぐためには、柵の土砂等を定期的に浚渫(しゅんせつ)する必要があると認識しています。

この暗渠管等は、道路構造物であることから、御要望いただきました、当該施設の機能保全に必要な維持管理や土砂等の流出を防ぐ壁等の設置に関する内容につきましては、京都市左京土木事務所に御相談いただきたく考えております。